

平成30年度 小美玉市立玉里小学校 学校関係者評価書

小美玉市立玉里小学校 学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会の総評

- (1) 目標や具体的な施策について
- ・授業づくりを第一に考えて取り組んでいるのがすばらしい。
 - ・小さくとも目に見えにくくてもスモールステップをひとつひとつクリアしていく取り組みをしていた。
 - ・目標達成のための取り組みが効果があった。
- (2) 今年度の成果と課題について
- ・校内行事において計画委員会を立ち上げ、児童が主体的に取り組んだことが他の生活・学習全般に対して意欲とともに成果が目に見えてきたものと思う。さらに自信につながるように見守りたい
 - ・「授業が楽しい」が大きく向上したのは先生方の努力の賜であろう。今後「授業が楽しい」の分析を進めてさらに授業改善に生かして欲しい。
 - ・今年度掲げた目標はほぼ達成できたようだ。準備にかかる時間を思うと苦勞が忍ばれる。
- (3) 次年度に向けての改善策について
- ・支援学級での指導の有用性ととも交流学級における仲間意識、存在感等をお互いにもって生活できているか、さらに見直して向上を図って欲しい。
 - ・今年度を振り返って、新たに見いだされた課題に向けて、しっかり準備をしていってほしい。
 - ・「生活のきまり」や「生活目標」について、子供自らが守れるように意識をしていく。
- (4) その他
- ・面談での対応力を高めることが児童や保護者への理解を深めることにつながると思う。
 - ・子供たちが学校で取り組んでいる行事などの様子を楽しく話してくれる。保護者からも肯定的な話を聞くようになった。
 - ・授業を参観する度に落ち着いてきている。先生の目が行き届き、指示が通っている。
 - ・授業をしている先生の表情がとても穏やかでよい。
 - ・下校時の様子を見ていると、学校から離れるに従って乱れてきてしまっている。本来通るべき道からそれて、他の敷地を通過してしまう児童も見受ける。

2 分野別評価

	学校の取り組みに対する評価と今後の改善点
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いにより成績の向上がみられたことは喜ばしい。自分の考えを言うためには自身の経験や知識を踏まえて考えを述べるので、読書をさらに習慣づけて欲しい。 ・授業づくりへの取り組みが研鑽され、児童一人一人に向けた準備がされている。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班活動や行事の計画委員会を通して児童の積極的な姿を見ることができた。下校時の道でのあいさつ「さようなら」「おかえり」「ただいま」などの声は学校から遠ざかると小さくなるようだ。 ・学校が楽しいのが基本。自主的に活動に参加している気持ちを育ててほしい。 ・「食べたもので体がつくられ、聞いた言葉で心がつくられ、発した言葉で未来がつくられる」と言われる。今後ますます、子供たちも大人も言葉の使い方に注意していく必要がある。
健康な体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科受診率がやや低いので保護者への啓蒙を工夫する必要がある。 ・体力テストも持久走、なわとびだけでなく全体での取り組みを工夫して伸ばせればと思う。 ・インターネットの利用について、子供たちの健康面や学習面で生活を左右するので、学校と家庭との連携が重要である。
開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携がとてよくなされている。 ・地域とつながっていく活動は労力が必要だが、学校への協力者が増えることにつながる。 ・フリー参観が参加者減というのは、親たちの安心度が増したことの表れではないか。いつでも参観できる学校の構えがあればよい。